

平成 16 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号)	提案機関名	湘南家畜保健衛生所
91		
※記入不要		
要望問題 試験研究課題波及効果測定システムの開発		
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 研究機関でのグループごとの研究成果について、その効果測定を客観的に判定できるシステムがないため、今回の提案のような形での研究課題設定が必要であり、このような形でなく、生産者及び消費者からの要望に応えるような試験設定から、研究結果による波及効果を測定し、研究の進行管理の効率化を図るシステムを作成する必要がある。		
解決希望年限	① 1 年以内 ② 2～3 年以内 ③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内	
研究対応区分	① 研究所対応 ② 委託研究 ③ 共同研究 ④ その他	
対応を希望する研究機関名	① 農業総合研究所 (② 根府川試験場 ③ 三浦試験場 ④ 津久井試験場) ⑤ 畜産研究所 ⑥ 水産総合研究所 (⑦ 内水面試験場 ⑧ 相模湾試験場) ⑨ 自然環境保全センター	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業総合研究所
部 署	企画調整部
対応区分	① 実施 ② 実施中 ③ 継続検討 ④ 実施済 ⑤ 調査指導対応 ⑥ 現地対応 ⑦ 実施不可
試験研究課題名	(①、②、④の場合)
対応の内容等 試験研究課題の設定については、要試験研究問題提案書によるもの以外に行政課題解決のための必要から実施するものや、将来の研究成果を見越してシーズとして実施するものがあり、これらを総合的に判断し次年度の課題を決定しています。要試験研究問題提案書は「生産者及び消費者からの要望に応えるような試験設定」のための重要な情報源と考えます。 研究成果に対する客観的な評価や波及効果の測定については、確かに重要な課題と認識していますが。現在実施している成績・成果検討会や各所属長によるヒアリング以外に、新たに客観的で公平な評価手法を導入するのは組織体制や業務量上、極めて困難と思われませんが更に有効な手法の導入の可能性について検討してまいります。 なお、要研究問題提案書への対応情報については、提案者以外にもホームページ等で公表し効率的な提案に資する方向で検討してまいります。	
解決予定年限	① 1 年以内 ② 2～3 年以内 ③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内
備 考	